

【全国認定こども園協会沖縄県支部】
認定こども園経営セミナー2022年

～加速する少子化時代の園運営と経営～

多数の園より、専門講師による運営・経営の研修依頼があり、今回の運びとなりました

沖縄県は緊急事態宣言期間が長く、その影響で出生率が減少！コロナで失業者が増えて勤証明書が貰えない！
入所率が減少し保育園の運営経営が大変心配です。来年からは、社会福祉法人連携推進法人が施行されます。
今こそ、みんなで学び、“子ども達の最善の利益、を求めて頑張って行きましょう！”

1. 主催: 特定非営利活動法人全国認定こども園協会沖縄県支部
2. 日時: 令和4年1月6日(木)
●午前の部 受付 午前 9:00 開始 午前 9:30～
●午後の部 受付 午後 1:30 開始 午後 2:00～
※申し込みは午前の部・午後の部のいずれかになります。
3. 会場: 沖縄県総合福祉センターゆいホール
4. 参加費: 10,000 円
5. 定員: 午前の部 150名 : 午後の部 150名 計300名
6. 締切日: 令和3年12月27日(月) (※定員に達し次第受付終了となります)
7. 参加対象: 理事長、園長、主任、事務職員、行政担当者

……………素晴らしい講師をお呼びしました……………

研修1 演題: 「人口減少地域におけるこれからの保育所・認定こども園について」

◎厚生省のホームページより「社会福祉連携推進法人」を冊子で各自持参

講師: 坂崎隆浩 氏

社会福祉法人清隆厚生会幼保連携型認定こども園理事長

◎厚生労働省: 地域における保育所、保育士等の在り方に関する検討委員 (2021

◎幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改正による検討委員(2017-



～パネルディスカッション～ コーディネーター: 棚原 郷

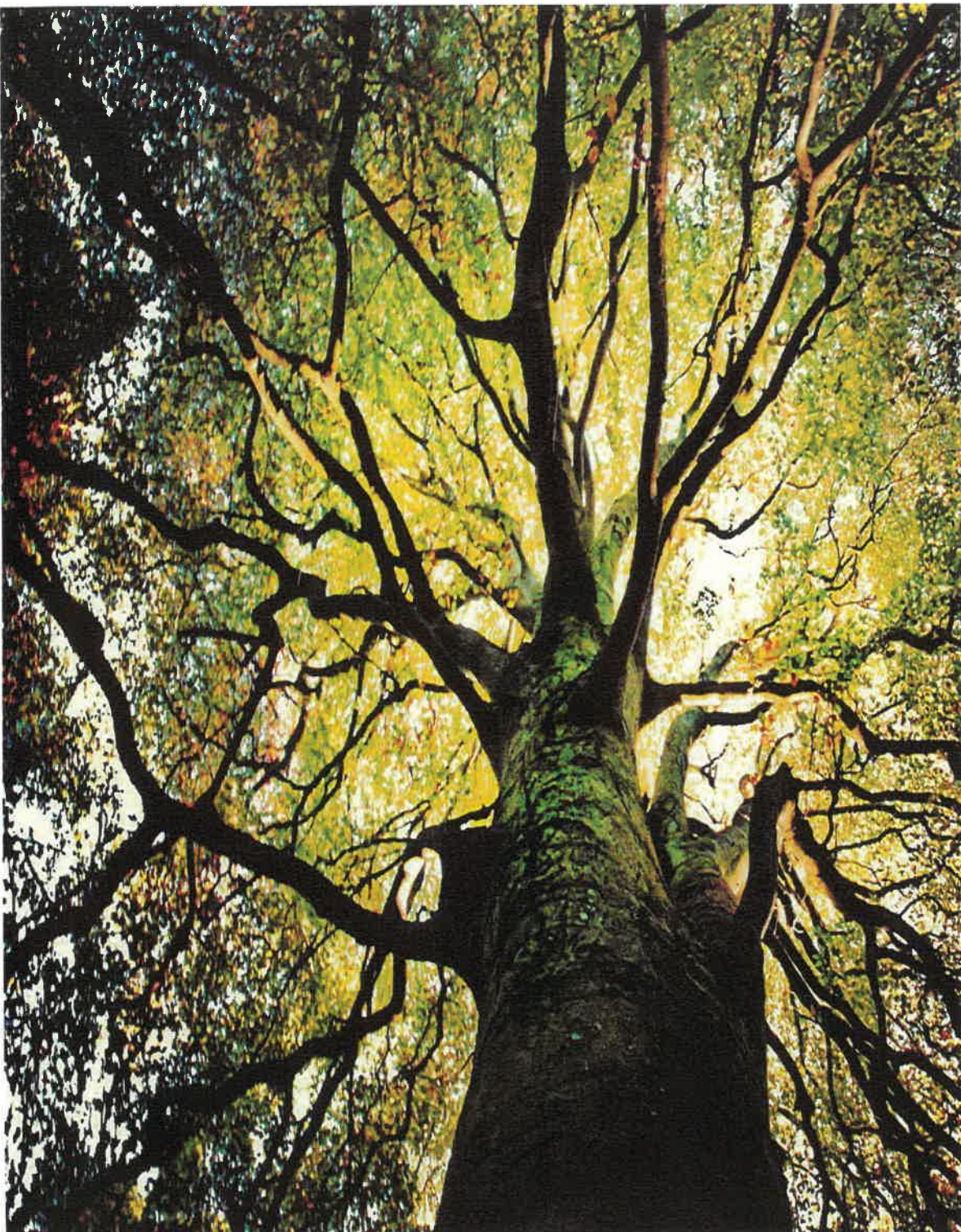
パネリスト: 坂崎 隆浩 パネリスト: 菊池 宏行 パネリスト: 阿嘉 よね子

研修II 演題: 「施設環境セミナー2022 IN 沖縄」

講師: 菊池宏行 氏 (株式会社時設計 会長)

- ① 2025年(令和7年)が保育所利用児童数のピーク
- ② コロナ禍で加速する少子化時代
- ③ 「選ばれる園」から「選ばれる法人」へと変化
- ④ 園のブランディング化
- ⑤ 選ばれる園になるための施設環境





全国認定こども園協会沖縄県支部
認定こども園経営セミナー2022年

演題

「人口減少地域に おけるこれからの 保育所・認定こども園 について」

社会福祉法人清隆厚生会
幼保連携型認定こども園
こども園ひがしどおり
理事長園長 坂崎 隆浩

令和4年1月6日(木)午前の部9:30～
午後の部2:00～

場 所:沖縄県総合福祉センター

坂崎 隆浩 (さかざき たかひろ) 神奈川県生まれ、青森県津軽地方育ち 下北在住

現在、1法人3施設(青森県の下北と津軽)の理事長(2004年ー)

幼保連携型認定こども園こども園ひがしどおり園長(2012年ー)

◎役職 保育3団体実務者会議委員/社会福祉法人日本保育協会全国理事(2010年ー)

同保育問題検討委員会認定こども園委員会委員長他 保育総合研究会会長(2021年ー)

これまでと現在の主な要職

◎厚生労働省:地域における保育所、保育士等の在り方に関する検討会委員(2021年ー)

◎農林水産省:「和食」と地域食文化継承推進事業「和食文化継承の人材育成等事業」検討委員(2019年ー)

◎内閣府:幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に係る関係団体との検討会委員(2017年ー)

●文部科学省:「幼児教育に関する調査研究拠点の整備に向けた検討会議」検討委員(2015ー2016年)

●内閣府:「子ども・子育て会議」委員(2013ー15年)

●内閣府:「子ども・子育て新システム検討会議作業グループ基本制度ワーキングチーム」委員(2010ー12年)

●厚生労働省:「社会保障審議会小子化対策特別部会保育専門委員会」専門委員(2009ー10)

●厚生労働省:「次世代育成支援のための新たな制度設計に関する保育事業者検会」委員(2008-09)

●青森短期大学地域創造学科(子ども専攻)助教授・准教授(2005ー09)

※1994年エンゼルプラン及び戦後初50年ぶりの児童福祉法改正時に日本保育協会青年部長として改革に参画。2000年より日本保育協会青森県支部支部長。同保育問題検討委員会委員長等歴任。2012年子ども子育て関連3法制定時の子ども・子育て会議委員。2016年国立政策研究所幼児教育センター検討委員。現在、保育3団体の委員等を歴任。一昨年アメリカ視察、これまでスウェーデン・フランス・ドイツ・オランダ・イギリス・インドネシア等海外視察を行っている。

☆その他/指揮者 1978年より指揮者・作曲家・音楽監督として活動。現代作曲家の第一人者である元桐朋音楽大学学長、元東京文化会館館長、作曲家故三善晃氏等に師事。三善晃や鈴木輝明及びなかにしあかねの現代作曲家の新曲等の作品を手掛ける。2000年には青森県芸術文化奨励賞受賞。青森県民文化祭で5度の総合プロデュースや青森県文化観光立県音楽担当。太宰治生誕100年の作曲等も務める。又ニューヨークカーネギーホール・ウィーン楽友協会2回などの招待演奏、海外演奏3回など、毎年年間10回程度のコンサートやコンクールにて演奏を行う。五所川原合唱団でグロスマンコンクールで全部門1位、全日本全国銀賞他。愛知県国民文化祭出演。太宰治「レクイエム」等(作曲)を交響楽団演奏。現在、4団体(合唱)常任指揮者。一昨年4月、なかにし作品の初演作品(昨年1月発売)を手掛ける成功させ、8月おおかさんコーラス全国優秀賞、9月に5度目の総合プロデュース、第29回青森県民文化祭「時の空を操り命を守る未来の物語」2時間を脚本作曲演出し成功させる。全日本合唱連盟青森県支部副理事長歴任中。

◇主な執筆関係

2008年監修「新保育所保育指針サポートブック」(保育総合研究会:世界文化社発刊)は10万部のベストセラーとなった。4冊目の単著「少子化時代の保育と教育」(2017年/監修等26冊目)他、一昨年「新要領や指針のサポートブック」、「自己チェックリスト」2冊を監修執筆し出版。本年2月「年齢別サポートブック」5冊の監修にあたっている。

プロフィール



菊地 宏行 きくちひろゆき

建築家
株式会社時設計 会長

一級建築士
一級建築施工管理技士
認定ファシティーマネージャー
ビオトープ管理士施工二級

経歴

- 1954年 東京都にて出生 現在、千葉県船橋市在住
1973年 東京都立田無工業高校建築科 卒業
株式会社現代建築研究所 入社 銀行、公共施設の設計業務に従事
1984年 株式会社時設計 設立
幼稚園、保育園、認定こども園などの子育て施設を専門で設計監理
全国多数の施設設計の経歴。

設計コンセプト

「こどもがこどもでいられるように」を願い、施設設計のデザインを行っている。
すべての子どもたちは、詩人、作家、芸術家、科学者であり、熱心な探究者であること。
彼らの鋭敏な創造性、感受性、知性を信じ、大切にし、開き、豊かに発揮することのできる、園舎、園庭づくりを目指しています。

受賞歴

- 2012 キッズデザイン賞 保育園、幼稚園、認定こども園 毎年連続受賞
～
2021 キッズデザイン賞 こどもの遊具「キノボリウオール」プロダクト部門受賞
2105 日比谷公園ガーデニング賞ライフスタイルガーデン部門東京都知事賞
2016 日比谷公園ガーデニング賞ライフスタイルガーデン部門優秀賞
2016 JCDデザインアワード2016ベスト100「どろんこ保育園」
2016 都市緑化機構シンボルガーデン部門「緑の環境プラン大賞「いぐねのにわ」



施設環境セミナー2022 IN 沖縄

2025年(令和7年)が保育所利用児童数のピーク。

- ・2025年以降は「保育所あまり」の時代へ。
- ・園児獲得競争へ突入。
- ・施設増の時代は終わりを迎え、待機児童解消の時代から、少子化社会での「選ばれる園」へと移行していく。

コロナ禍で加速する少子化時代。

- ・2021年から出生数が大幅減、このまま低下し続けるのか。

「選ばれる園」から「選ばれる法人」へと変化

- ・問われる園の経営力。
- ・社会福祉連携推進法人とは。

園のブランディング化

- ・ブランディングとは。
- ・保育・教育・サービス力と利便性。

選ばれる園になるための施設環境

- ・園の独自性、他園との差別化を図る空間デザイン。
- ・園庭の価値を高める「庭育」という考え方。
- ・施設の維持管理。
- ・心機一転施設のリノベーション。
- ・施設整備にかかるコスト。